

## 地域の経済動向（令和3年10～12月期） 《道南（渡島・檜山）地域》

### 1 経済動向に係る企業等の声（10～12月期）

#### 【建設業】

- ・経営陣や従業員の高齢化により、経営の先が読めない。（一般土木建築工事業）

#### 【卸売・小売業】

- ・イカ・サケ不漁で魚価は上昇しているものの、飲食店需要がまだ低い水準であるため、一般鮮魚は競り値も低迷、漁業者収入も減少している。（卸売業）
- ・半導体不足の影響で販売数が伸び悩んでいる。（自動車販売業）

#### 【運輸業】

- ・旅行者は増えているが、バスへの乗車率は低いため、バスは安全な乗り物だということをもっと告知していただきたい。（一般乗合旅客自動車運送業）

#### 【サービス業】

- ・コロナによる価格高騰、高齢化による高齢者不足が課題。（自動車整備業）
- ・緊急事態宣言解除後の宿泊売上は、通常比 20～25%減程度。新しい旅のスタイルは低調。人数制限とエリア規制が原因。10月末までグランピングを実施。雑誌掲載され、道外からの利用も多く、好評だった。一方で、ガソリン価格が上昇し、遠方からの客足が鈍っている。夏期はキャンプ客が、昨年比2倍程度増加。（宿泊・飲食業）
- ・9月頃から客が増え始めている。コロナにより土日のイベントがなく、売上は例年より4割程度減少しており、レストランの売上も全くなし。（宿泊業）
- ・緊急事態宣言の解除以降も観光客の動きは鈍い。感染者の減少に伴い、繁忙期に向けて観光客の増加を期待している。（宿泊業）
- ・10月後半から、山形・福島などからの修学旅行生が増えた。家族連れなど小グループの道内観光客や出張者も多く、朝市や飲食店も復調してきたので、この状態を維持していきたい。（ホテル）
- ・9～10月は修学旅行生が来訪し、昨年度より売上増加。団体ツアーの予約もある。オンラインショップの販売方法を変え、売上好調。「GoToトラベル」は多くの来客があったが、「新しい旅のスタイル」は、あまり効果を感じない。緊急事態宣言解除後の宿泊売上は、通常比 20～25%減程度。（旅行・小売業）









#### 【関係機関・団体】

- ・飲食業では時短営業が解除になり、客足が戻りつつも、コロナ前の水準までは届かない。ガソリンや木材の価格高騰の影響も今後見込まれる。第三者認証制度は地方では申請するメリットがない。年内は現状維持。来年は業績回復を見込んでいる。（商工会）
- ・コロナの影響の大きい高級飲食店やコンビニ向けに生産していた農産物がだぶついており、加工や販路の相談が増えている。（支援機関）
- ・飲食業は時短営業解除後もあまり客足が戻らない。第三者認証制度は、飲食店の客層が町内の常連客中心でメリットを感じない。建築工事関係では、半導体不足で部品が手に入らず、個人宅の改修（トイレ、キッチン等）でも影響がある。宿泊関係は、元々客が工事関係者中心で、「新しい旅のスタイル」は、効果を感じない。サービス・土木工事業で人手不足。事業者自身が高齢者で、雇用する必要も無いというところもある。事業承継ではなく、廃業を選択。（商工会）
- ・総じて、建設業は好調。コロナに関しては、地元企業は規模が小さく補助金・助成金でかなり助かった。水産加工や、催事出店をメインで行っている事業者は打撃が大きい。原油高騰の影響も出てきており、運輸業のほか、クリーニング業者からも声を聞く。また、全般的に人手不足だが、特に建設業は深刻。有資格者や若年者が集まらない。（金融機関）

















2 道内金融機関から見た地域景況感 (10~12) 月期

① 非常に好調 	② 好調 	③ やや好調 	④ 普通 	⑤ やや低調 	⑥ 低調 	⑦ 非常に低調 
---	--	--	--	--	--	---

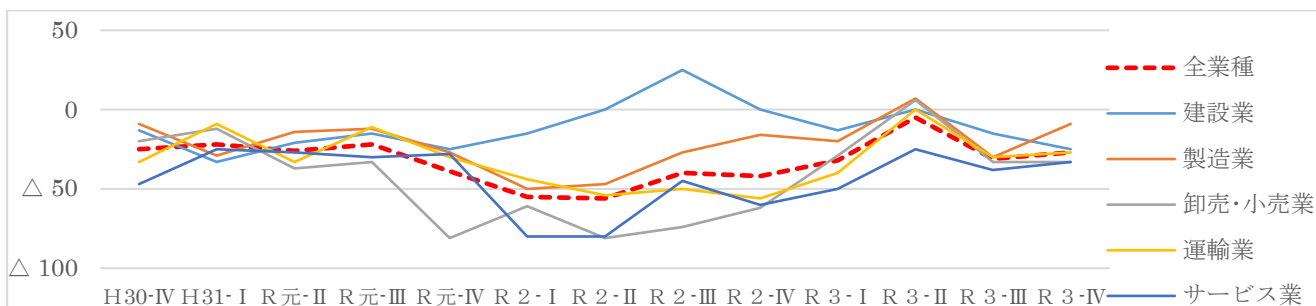
【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
渡島信用金庫				新型コロナウイルスの影響を懸念し、行動自粛をしていた人がまだまだ通常の生活に戻っておらず、飲食業、観光業の来客数の落ち込みによる消費の低迷が続いており、また水産物の水揚高も例年より落ち込んでいるため。		新型コロナウイルスの新たな変異株の出現により、第6波を警戒した行動を取る人が増加することから、地域経済回復にはまだ見通しが立たないため。
道南うみ街信用金庫				今期の業況判断 DI は不動産業でプラスを示し、建設業で均衡を保った。他の業種では、マイナス幅が圧縮されたものの、依然として大幅なマイナスを示している。建設業・製造業共に概況・売上・受注残高が減少傾向を示している。消費動向も緊急事態宣言の解除による回復に留まっている状況から「やや低調」と判断した。		各業種共に冬期間の稼働状況は縮小傾向となる。1-3月期予想は概況 DI 及び売上額 DI 共に大幅なマイナスを示しており、総体的に今期の「やや低調」から「下降傾向」と判断した。

【景況感の推移】

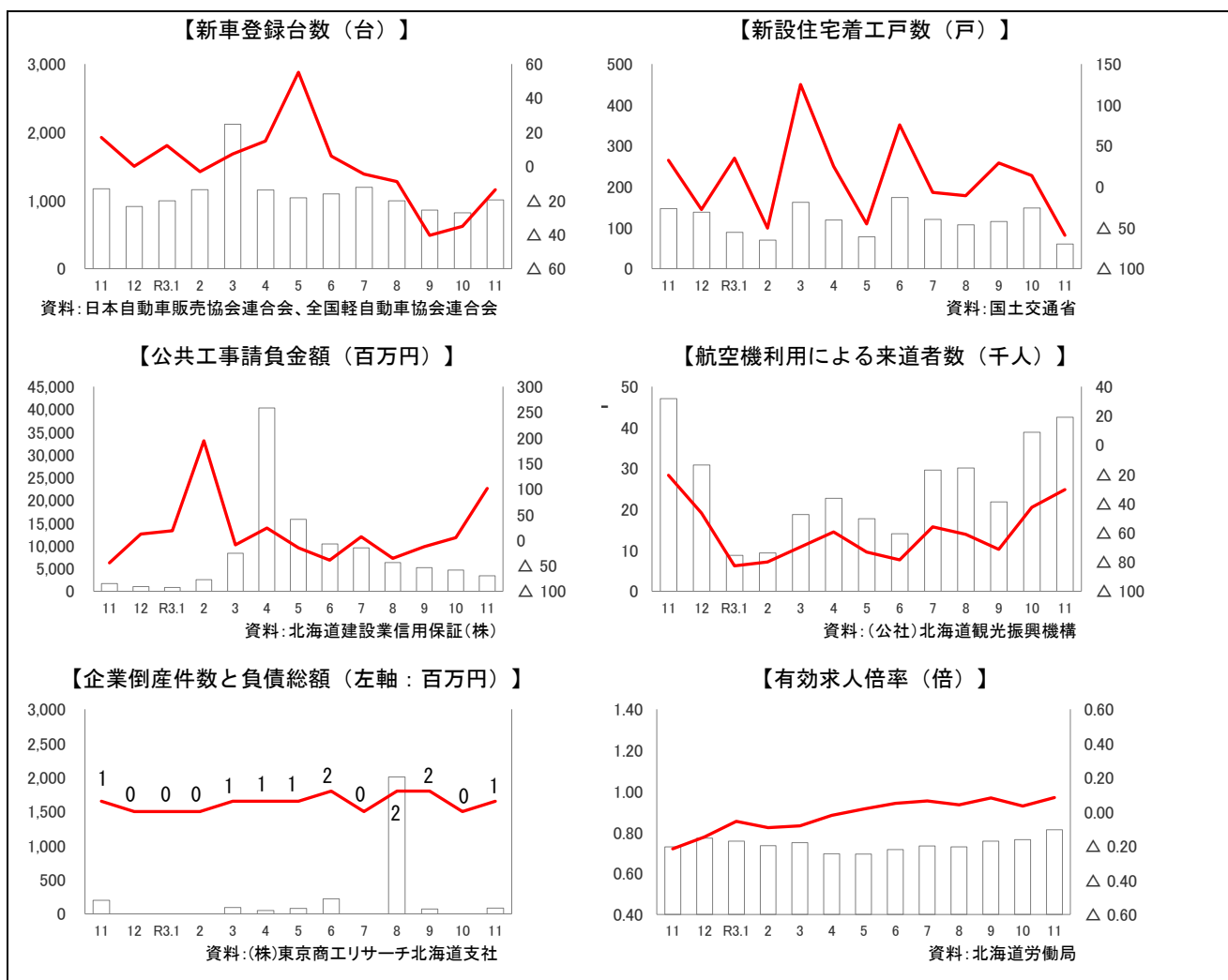
	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV
渡島信用金庫								
道南うみ街信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI（企業経営者意識調査）



	H30-IV	H31- I	R元- II	R元- III	R元- IV	R2- I	R2- II	R2- III	R2- IV	R3- I	R3- II	R3- III	R3- IV
全業種	△ 25	△ 22	△ 26	△ 22	△ 39	△ 55	△ 56	△ 40	△ 42	△ 32	△ 5	△ 31	△ 27
建設業	△ 13	△ 33	△ 21	△ 15	△ 25	△ 15	0	25	0	△ 13	0	△ 15	△ 25
製造業	△ 9	△ 29	△ 14	△ 12	△ 27	△ 50	△ 47	△ 27	△ 16	△ 20	7	△ 30	△ 9
卸売・小売業	△ 20	△ 12	△ 37	△ 33	△ 81	△ 61	△ 81	△ 74	△ 62	△ 29	6	△ 33	△ 33
運輸業	△ 33	△ 9	△ 33	△ 11	△ 30	△ 44	△ 54	△ 50	△ 56	△ 40	0	△ 30	△ 27
サービス業	△ 47	△ 25	△ 27	△ 30	△ 28	△ 80	△ 80	△ 45	△ 60	△ 50	△ 25	△ 38	△ 33

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)